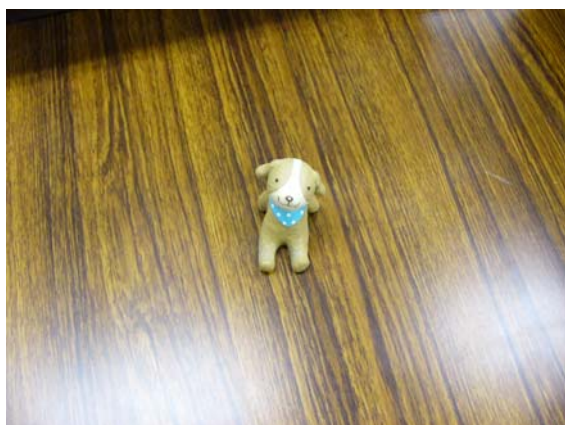


「カルチャーオンラインショップ」 出品用写真撮影のポイント

◆魅力ある作品写真の撮影方法

＜悪い例＞



＜良い例＞

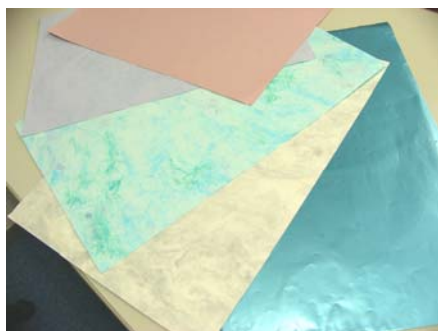


＜A＞は被写体から離れて撮影したものです。全体的に小さく写ってしまい、背景も机の木目や光が写ってしまっています。

＜B＞は被写体に接近して撮影したものです。背景もピンクや白で統一しました。近くで撮影することにより迫力が出ます。

作品写真の撮影の際には、背景を意識していただくようご協力をお願いいたします。

◆背景に使用したもの



カラーの用紙を下に敷くだけで作品の印象が違います。用紙の下に物を入れ、段差をつけると印象がまた違って見えます。

◆写真撮影の仕方

手工芸関係の場合、撮影をする際に上・右・左・正面からの撮影をお願いいたします。

上



右



左



正面



絵画関係は、可能であれば額に入れた状態での撮影をお願いいたします。

◆写真撮影のコツ まとめ◆

①写真の背景には作品に関係のないものは極力写らないようにしてください。

- 「生活感」などが出ないように
- 関連するものを入れて作品を引き立たせるためのコーディネートは OK

②接写する場合はカメラの「マクロモード」を利用しましょう

③撮影は昼間の明るい時間に行ってください

- 明るい窓辺の自然光の中での撮影が理想的です
- 蛍光灯、白熱電球などを光源にすると、作品の写り方が全く変わることがあるのでご注意ください
- なるべく影が映らないように撮影をお願いいたします。

④額装した写真を撮影する場合は作品の上のアクリル板やガラスを外してください

- 光が反射したり、撮影している人の姿が写ってしまわないようにご注意ください

⑤画像データが小さすぎると作品がきれいに見えません。データのサイズは1MB以上のものをご用意ください。

- 携帯電話のカメラで撮影した写真は不可（スマートフォンは可）